

S S T K NO. 103

特定非営利活動法人 木よりの家



編集人 NPO 法人木よりの家(地域活動支援センター木よりの家)
運営日 月~土 9:30~16:00
〒285-0014 佐倉市栄町7-15 TEL/FAX 043-486-7686

郵便振替口座 00100-4-39320 加入者名 木よりの家

<木よりの家>		<まあるい会>	
巻頭言	理事長 酒井綾乃 1	会員・寄付者・川柳	5
メンバーの日々	ピックアップ 2	まあるい会会報	6
オンライン支援報告	3	まあるい会近況	7
絵画寺澤先生・総会報告	4	木よりの家・まあるい会お知らせ	8

違う「3密」で頑張りましょう

コロナ禍のなか、感染リスクを限りなくゼロにするには、人との接触を避けるのが一番です。しかし人は互いに触れ合い、支え合って生きるものだと思います。障害があってもなくても、「ともに」生きるのが木よりの家の基本理念です。コロナはなくなっていますが、これからもできる限りの対策を講じつつ、「ともに生きる」場としての木よりの家のあり方を模索する必要があると思います。

お店を閉店し、ご寄付をお断りし、また様々なイベントが延期または中止になっており、皆さまにはご不便、ご心配をおかけしております。とても残念なことです。メンバー、スタッフ、はじめ関係者の皆さまの安全を第一に考えての対応です。緊急事態宣言中は閉所を余儀なくされましたが、テクノロジーとスタッフの工夫のおかげでオンライン支援ができました。メンバーの皆が画面の向こうで手を振ったり、歌をうたったり、ダンスをしたり、楽しく過ごしました。時々、インターネット回線が切れて、画面が消えてしまったのも、いつか良い思い出になればと思います。多くの制約の中、6月から木よりの家への通いが実現できました。マスクをしたメンバーが手作りの楽器を振って楽しそうに演奏している姿を見た時は感動の嵐でした。

木よりの家は、違う!「3つの密」を実現していきたいと思います。
マスクはしてもメンバー同士の心は常に親密、支援者の皆さまとは常に密接、世の中とも常に密着です。今後ともどうぞよろしく願いいたします。(理事長 酒井綾乃)



自画像貼り絵

ある日の「木ようの家」・・・ピックアップ活動報告

4月 緊急事態宣言中 スタッフ1名・メンバー午前1名・午後1名(希望者)体制
20日 8日が誕生日の茉耶さんに智美さんがステンドクッキーを作りプレゼント。

5月 スタッフ1名・メンバー1名体制の中 オンライン支援開始

8日 オンラインテスト通信

11日 オンライン本番 ハウリングしたりでしたがメンバーの笑顔は輝いてました。

18日 楓さんはお留守番中に自分でスカイプ参加!

1部(楓さん・清水君・夏海さん)

2部(智美さん・ひろさん・愛ちゃん・梨紗子さん)

皆の好きな「ビリーブ」の曲でエクササイズ。よく動けてます。



6月 短縮通常通所開始

久しぶりに会えて本当にメンバーは嬉しそう! 10時15分まで念入りに消毒と掃除。

そして3密に気をつける事の大事さを皆に伝えて公園へ! 空の下でエクササイズ!!

5日 ボイストレーニング

足形シートを床に置き1人ひとり距離をとって「にじ」「ビリーブ」「トトロ」を歌いました。

22日 音楽教室

久しぶりのヒロさん以外のフルメンバーが揃い、にぎやかに盛り上がりました。

24日 外ランチ

中央公民館、横の公園まで歩き、ベンチの間隔が広いので思いっきり、おしゃべりしながらお弁当を食べました。帰りの城址公園の外周の池に着いた時、ミスト状の雨が体に降り注ぎ、ジャングルクルーズにいるみたいと雨も楽しい。戻ってから27分エクササイズ。お疲れ様でした。

7月6日 手話ダンス

野崎君は上野先生との2年ぶりの再会を喜びました。新曲「うちでおどろう」練習開始。

13日 さんぽ

宮前の公園巡り。今日も外へ。昼休みに梨紗子さんはプラバンに色を塗って素敵に出来ました。

15日 「鬼滅の刃」映画会

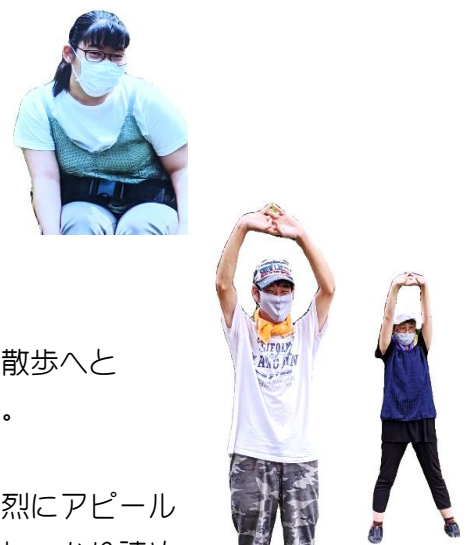
メンバーのお気に入りのアニメ。苦手かなと心配だった愛ちゃんも気に入ってくれました。

27日

約4か月ぶりのひろさんの来所。みんなは大喜び。しかし皆で散歩へとはならず、ひろさんはシュレッダーをやると残りました・・・。

30日 城址公園さんぽ お話し会

夏海さんもひろさんも久しぶりの長距離を歩き、足が痛いと猛烈にアピールしつつも頑張りました。午後のお話し会は智美さんが紙芝居をしっかり読みました。手遊び歌が始まると、ひとり遠くでシュレッダーをしていたひろさんも急いで参加。



この数か月コロナウイルスで生活が激変しています。木ようの家でも4月に緊急事態宣言が出され、スタッフと希望するメンバー1対1の支援となりました。しかし期間も長期化し、佐倉市内でもコロナウイルス感染者が増えてきている状況で木ようの家に来られないメンバーにも支援できる方法はないかと考えました。私が担当しているボイトレ講座をオンラインで出来たらと思い提案させて頂いたところ皆さん賛成して下さい、5月は毎週、月曜日はスタッフの島田さんが「エクササイズ」金曜日は私が「ボイトレ」をオンラインで提供することになりました。

メンバーの各ご家庭と Skype を使いオンライン支援をすることになったのですが、やったことがないので初めは四苦八苦(>_<)、テスト配信では音声や画像が全員映らなかつたり大変でしたが、2グループの少人数に分けると画像が映ることが分かり無事に1回目のオンラインボイトレを終えた時はホッとしました。保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。

画面越しに久しぶりに会えたメンバーもうれしそうに飼っているワンちゃんを紹介してくれたり、自分のキーボードで演奏してくれたメンバーもありました♪一緒に手遊び歌や季節の歌、以前から練習している「ピリブ」、「にじ」は手話をしながら歌い、リクエスト曲では「ぶんぶんぶん」、「翼をください」、髭男の「宿命」もリズムを取りながら歌いました(^^♪

オンラインは、コロナウイルス感染リスクがなく、遠方でも参加できるなど良い点も沢山あるのですが、Skype や Zoom ではどうしても音に遅延があり、一緒に歌ってもバラバラに聞こえてしまうのが難点です。もっと使いやすいソフトが開発されて早くオンラインで合唱しても、ずれないようにしてほしいです。

6月からは木ようの家もメンバーの通所を再開し、ボイトレもマスクやフェイスシールドをして換気をし、ソーシャルディスタンスを取りながら行っています。シェーカーや鈴などの楽器も毎回消毒しています。やはり、皆と会えると日々色々な発見があって楽しいです。最近は笑顔で積極的に前に出て参加してくれるメンバーが多くて、うれしいです。

コロナウイルス感染流行は予断を許さず先が見えませんが、今後も今できる形で安全に配慮しながらメンバーと繋がって行けたらと思います。(小林 薫)

私のオンラインサポートは主に手話ダンスとエクササイズを行いました。手話ダンスは手話教室で教わっているダンス『にじいろ』と『パプリカ』を通えない間も忘れないよう踊り練習しました。エクササイズでは、お家時間による運動不足、体力低下を少しでも改善できるといいなと思い私が普段、家でやっているエクササイズをメンバーと一緒にすることにしました。洋楽だったりメンバーが知ってる曲に合わせて体を動かし、飽きないようタオルを使ったエクササイズをしてメンバーと楽しくオンライン時間を過ごしました。ここでメンバーと一緒にやった二の腕、腰肉に効くエクササイズを2つ紹介したいと思います。どちらも30秒ずつ頑張ってみてください。ファイトー！！ (島田紅梨)



脇腹を意識して左右に



タオルがたるまないよう上下に



「木ようの家」に出会って

木ようの家の絵画教室は2018年12月から自分の得意な透明水彩で花を描くということならとお引き受けしました。

本来、絵は自由です。それぞれが感じ取ったものを自由に表現するもの、私自身そう習いましたしそう伝えたいと思っています。とは言っても初めは誰でも戸惑います。木ようの家の皆さんはどうかしら?と最初はドキドキでした。実際、席に着くことも、筆を持つのも難しい場面もありました。それでも、段々に私が行くと絵を描くのだと理解してきたようです。そして出来上がる作品は素晴らしい表現力で密かに感動していました。

今では、それぞれが自信を持って絵を描き、ちぎり絵にもチャレンジしています。製作中は静寂な時間が流れています。周りを気にせず夢中に描くというアートに大切な力を皆は持っていたのでしょう。また、透明水彩という画材にもあつという間に慣れ使いこなしていることも集中力のなせることなのかもしれません。

もう、私の仕事は皆に合った課題を考えることと、ほんの少し仕上げを手伝うことくらいです。私が手を加えられない完成度の高い作品も生まれています。出来れば、いずれかの発表の場で多くの方に実際の純なアートに感動して頂きたいです。その為にも毎回の教室の時間を大切に、ひとりひとりの作品を大切に育てたいと思っています。

最後に、活動のすべてをスタッフの皆さんの心配りが支えていて絵画教室もそのお蔭で成り立っています。サポートありがとうございます。私を結び付けてくれたSAINT. Dの石渡さん 諒君のママ・米澤さん。これからも見守ってください。そして人生においてこのような経験に出会え「木ようの家」とのめぐり逢いを出来る限り大切にしたいと思える自分にほんの少し成長を感じています。(寺澤まり子)



「手のひらを太陽に」

寺澤まり子&木ようの家メンバー共同制作

2020年度第18期総会報告

2020年6月6日、法人事務所で15時より総会を行いました。

正会員数27名、当日出席者15名、委任状10名、欠席者2名でコロナ禍の中ではありましたが無事終えることができました。当初、総会后に大規模災害、特に地震時の事業所での対応や各家庭との連絡体制について事前アンケートをもとに学習会を行う予定でしたが、新型コロナの感染防御のため、短時間で終了させるべく学習会は中止となりました。

昨年度の事業報告並びに会計報告、監査結果も含めて全員の拍手で承認されました。今年度の予算と事業計画ですが、コロナの影響で全く予定が立てられず、例年同様の事業、予算規模で暫定的な提案になりました。法人が立ち上がって10数年ですが、このような事態は初めてのことです。今年一年の活動については、すべて流動的であり、時々々の感染状況や国県の動向を見ながら、感染予防に努め、安全第一に進めていくことで皆さんの同意が得られました。また、2年に一度の理事改選の年ではありますが、全員理事を継続し、理事長も再任を承認されました。(NPO事務局工藤)

特定非営利活動法人木ようの家をご支援頂きありがとうございます

賛助会員 3,000円/年 正会員 5,000円/年 団体会員 10,000円/年

振込先(郵便局) 口座番号 00100-4-39320
加入者名 木ようのいえ

正会員 2020年度分 22名

個人名の記載省略

賛助会員 2020年度分 39名

個人名の記載省略

団体会員2020年度分 3団体

個人名の記載省略

4/1~8/30お手伝いをいただいた方(敬称略)

個人名の記載省略

青年&学生スタッフ

寄付金

個人名の記載省略

子ども服・バザー品・日用品・食品寄付
現在寄付の品はご遠慮頂いております。

年とるとベンチがあるとドッコイシヨ・・・柴田三喜
縁台で浴衣にうちわ昭和逝く・・・岩井ひさ江
ブランコを揺らすと昭和蘇る・・・羽生田はる
ポリシーも無くて気分で子を叱り・・・宮田忍
ママのバカ落書帖の涙跡・・・津田悠子

題…自由吟

笑声拝

S S T K NO.132

まあるい会・会報

編集人 まあるい会代表 山崎 静江

〒285-0045 千葉県佐倉市白銀2丁目20-15
TEL 090-9974-5473

—障害のある子もない子も共に学び、遊び、育ち合うことのできる学校でありたい—

淳の自立生活 その2 ~再スタートしました~

その1を書いてから1年以上の月日が経ってしまいました。昨年6月30日に重度訪問介護制度による地域での自立生活を試みましたが上手くいきませんでした。重度訪問介護の事業所は佐倉市内にはありません。途方に暮れ月日ばかりが過ぎていく日々。そんな時、今年になって千葉の知り合いが息子さんの生活支援に入っている事業所を紹介してくれました。4月21日にその事業者と会い淳の支援を引き受けてくれることが決まりました。今思えば奇跡の出会いでした。又自立生活に向け進めることができると希望が持てました。

しかしコロナ感染による緊急事態宣言のさなか思うように事を進めることができませんでした。6月になり、ようやく色々動き出しましたが、はやる気持ちの私と昨年の二の舞はしまいと慎重な関係者各位との間の葛藤がありました。段階を踏んでとか練習をしてからと、なかなかゴーサインがもらえませんでした。

ただ事業所は、「始めは誰でも色々あるのが当たり前。たとえ荒れても私たちは覚悟を持ってやらせていただきます。」と、勇気百倍。更はずっと木よりの家と一緒にやってきた原田さんが要所要所で佐倉市役所やその他諸々も一緒に行ってくれ大きな力になりました。府中で、すでに自立生活支援の事業所をしている原田さんの実践からの言葉には、とても説得力がありました。明朗塾も淳がアパートになれるように何回も連れて行ってくれました。事業所と淳もアパートで会い良い感じだったそうです。それから急速に話が進み8月4日には関係機関が集まり話をできたことで後一步というところまで来た感がありました。5日には「一日も早い中邨淳の地域移行に向けてのお願い」と題して佐倉市障害福祉課宛に文章を作って担当者と課長に話をしました。事業所には市から提出するように求められた書類をその日の夜にはメールで出してもらいました。6日夕方、市からゴーサインの連絡をもらいました。怒涛のような日々でした。

エネルギーがいる！というのが実感です。

そのような経緯で、めでたく8月7日(金)から表町に借りていたアパートで淳の自立生活はスタートしました。まだ、ほやほやの自立生活ですが経験ある事業所の皆様のおかげで怖いほどに順調です。淳の地域での自立生活をずーっと願って来ました。実現して本当に嬉しいです。肩の荷が少し降りました。私が今できることは、口も手も出さないこと！淳の暮らしのエピソードなどは、わかりましたら次回にお知らせさせていただきます。支えてくださった全ての皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。

(中邨淑子)

近況



緊急事態宣言以降しばらく木ようの家には通っていなかった
ヒロですが、ようやく通い始めました。よほど嬉しいようで、約束のマスク、手洗いを毎日一生懸命に守っています。ただ、ソーシャルディスタンスは注意されることが多いのか、グループホームに戻っても、「近いのはだめ」と皆さんに言っているらしい。

(酒井)

コロナ感染予防のため、業耶も外泊自粛となり、この半年はずっとグループホームで生活しています。幸い、木ようの家までは歩いて行けるため、平日は毎日通って過ごしています。NAAとの雇用も決まり、木ようの家でのサポートを受け、点字名刺の製作作業などもさせて頂いています。お盆に1日だけ家に帰れましたが、早く収束に向かってほしいものです。(山崎)

アニメ「鬼滅の刃」に、はまっています。「セーラームーン」や「プリキュア」などのかわいい系が好みの愛なので、最初は「好きじゃない」と言っていたのですが、はまっている木ようの家メンバーの影響か見始めるようになりました。今ではスマホで動画を毎晩のように見るほどです。(山本)

恵介は仕事から帰ると、コロナの新規感染者が、「全国で～人」とよく言っている。美術館は、入館するのにスマホで予約がいるらしい。長らくガラケーだった恵介が、スマホデビューした。料金がかかりすぎないよう、自分で考えているようです。(佐藤)

4月8日の緊急事態宣言以来、毎日亮を聖隷病院まで送迎しています。毎朝お弁当を作り、9:20出発。午後4:00に玄関を出て20分には病院Pに着くようにしています。ずっと此のまま続くのかと心配になります。折角、今迄は、ひとりで電車とバスを乗り継いで仕事場に行けていたのに全て親任せになってしまいました。木曜の夜の和太鼓の教室も今年はコロナで中止になり、亮の体重は増えています。あ～あ、この先どうなることやら！Σ(×_×;)!(浅田)

コロナの流行で、オリパラはもちろん、今年のほとんどの大会が中止になった。諒は記録を伸ばすチャンスもなく暑い中、地味な練習に明け暮れている。時々、変な独り言をいう息子だが、脱いたら本当にかっこいい！母は、自粛中に買い替えた電気バリカンの腕が上がり、夫と息子のカット代として、夫から2千円貰った。結局、家族のオカズ代になるんだけどね。(米澤)

淳の日中は明朗塾です。8,9,10日と初めて連休をアパートで過ごした淳は11日、明朗塾にいて自分の状況に混乱していたようです。でも午後には事業所の人を迎えにいったら、さっと荷物をもって帰ったとのことでした。自宅アパートから日中は明朗塾に通う、そのリズムができて良かったです。(中邨)

機内食のセッティングの仕事をしている健吾は、5月6月はほとんど休みに。7月から少しずつ仕事が入ってきましたが、入社以来ずっと早朝シフトで始発電車通勤だったのが、今は飛行機の関係で午後からの仕事で最終電車帰りに。時々24時までの仕事を空港バスで帰ってくることも。心配していましたが、意外とすんなりなじんでいるので安心しました。(美濃)

※ 前回4月発行のまあるい会会報は、NO.128となっていました。申し訳ありません、正しくはNO.131でした。



お知らせ

平素より木よりの家をご支援・ご利用頂き、感謝しております。
新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けまして、閉店しております。
ご心配・ご不便をおかけ致しておりますが、ご寄付の受付も中止しております。
何卒ご理解・ご協力のほどお願い致します。

まあるい会

【問い合わせ：山崎090—9974—5473】

通常学級で学ぶ障がい児の佐倉市内あるいは近郊に住む保護者の会

〔定例会〕 9月25日（金）10：30～ （基本的に第2金曜日）

【就園・就学相談会】

10月24日（土）10：30～ （予約制）

場所：NPO法人木よりの家

障がいをもったお子さんの就園や就学などのご相談はお気軽にご連絡ください

高校進学を実現させる会

【問い合わせ 雑賀090—8490—7061】

第2回県教委交渉 10月15日（木）10：00～12：00

場所 千葉市きぼーる15階 ボランティア活動室

〔定例会〕 ☆自己申告書・特別配慮申請書勉強会

日時：10月11日（日）10：00～12：00

場所：千葉市美浜区ボランティアセンター（美浜保健福祉センター2階）活動室1

県連絡会

【問い合わせ 岩原 090—2224—4230】

〔交流会〕 参加費300円*個別相談も随時可能

日時：10月2日（金）10：00～12：00

場所：千葉市美浜区ボランティアセンター（美浜保健福祉センター2階）活動室2

まあるい会 事務局 美濃真奈美 phone & fax 043-489-3356

NPO法人木よりの家 編集人 高尾俊子 phone & fax 043-486-7686

編集人 特定非営利活動法人木よりの家 佐倉市栄町7-15

発行人 埼玉県障害者団体定期刊行物協会 川口市芝新町15-9 アステール藤野1階

頒価 50円